

科目名	【朝日大学】法思想史 B
開設学校名	朝日大学
講師	法学部 准教授 岡崎 修（おかざき おさむ）
初回予定日	2014/09/22
授業時間	毎週 月曜日 3時限目（13：10～14：40）
主会場	朝日大学 穂積キャンパス 6号館 6506講義室
聴講方法	対面授業
科目内容	19世紀末から20世紀初めのアメリカでは、とりわけ労働契約に関連し、契約自由の原則を守るべきか、それともその規制を容認するかが、法律上の重要な争点になりました。こうした中で、20世紀の初めにある事件を巡り最高裁が下した判決を契機に、後に熾烈な法解釈論争へと発展しました。 この講義では、日本の民法における解釈技法の諸問題も取り上げながら、アメリカにおけるこの論争を通じ、法の解釈とはどのような知的作業なのかを見てゆきます。
注意事項	高校生は受講できません。 10月13日・11月3日・11月24日の祝日は、授業実施日です。

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
1	2014/9/22	ことばは記号
2	2014/9/29	「権利が発生する」とはどういう意味か？（概念の実体化1）
3	2014/10/6	所有権が意思の合致で移転する？（概念の実体化2）
4	2014/10/13	矛盾なき法理体系は何のため？（概念の実体化3）
5	2014/10/20	契約自由の原則と労働契約（19世紀アメリカの自由労働運動1）
6	2014/10/27	契約自由の原則はどこに問題があるか（19世紀アメリカの自由労働運動2）
7	2014/11/3	法の解釈は科学か（ロックナー対ニューヨーク事件）
8	2014/11/10	小テスト
9	2014/11/17	法は紛争解決の一手段（プラグマティズム法学1）
10	2014/11/24	コーヒーで火傷して賠償金3億円！？（プラグマティズム法学2）
11	2014/12/1	概念法学への批判（プラグマティズム法学3）
12	2014/12/8	法的事実とは何か（リアリズム法学1）
13	2014/12/15	ジェローム・フランクの事実認定論（リアリズム法学2）
14	2014/12/22	法律家は三段論法に従ってものを考えるか？（リアリズム法学3）
15	2015/1/19	法解釈論争：まとめ